

◆.....◆ ◆.....◆ 幻冬舎×テレビ東京×note「コミックエッセイ大賞」開催！ ◆.....◆

コミック エッセイ大賞



<開催概要>

株式会社テレビ東京(以下、テレビ東京)は、株式会社幻冬舎(以下、幻冬舎)、株式会社ピースオブケイク(以下、ピースオブケイク)と共同で、コミックエッセイの投稿コンテスト「コミックエッセイ大賞」を開催いたします。家族や友人、職場の方などの日常生活や、自分自身の内面、体験談などを描いたマンガ作品を、ピースオブケイク運営のサービス「note」で募集します。

入選された方には、「cakes」でのWEB連載や賞金、そして書籍化、映像化の話し合いなどを賞に応じて贈呈させていただきます。コミックエッセイという形で描かれた誰かの日常生活が、多くの人の共感を呼んだり、心を落ち着かせたり、生きる希望になったりすると私たちは考えています。

このコンテストを通して、新しいクリエイターの方と、多くの人の心に響く作品を生み出していきたいと思っています。みなさまの作品の投稿、お待ちしております。

<応募要項>

■スケジュール

応募期間：2019年4月3日(水)～5月31日(金)

発表：2019年6月後半予定

■募集作品

家族や友人、職場の方などの日常生活や、自分自身の内面を描いたコミックエッセイ作品を募集します。イラスト画像+テキストでの応募も受け付けます。

■応募方法

noteで「#コミックエッセイ大賞」のハッシュタグをつけて、投稿してください。応募の際は「無料」で公開してください。

※上記内容をもって、本コンテストの応募要項にご同意いただいたものとみなします。

■賞

・グランプリ(1名様)

賞金30万円

cakes 連載

幻冬舎からの書籍化やテレビ東京での映像化についての話し合い

・準グランプリ (3名様)

賞金 5万円

cakes 連載

幻冬舎からの書籍化やテレビ東京での映像化についての話し合い

・入賞 (5名様)

賞金 1万円

cakes 連載

※投稿者はプロ・アマ問いません。

※投稿される作品は、未発表の作品に限ります。

※応募作品は、noteのSNS等で紹介させていただく可能性がございます。

※cakes連載や書籍化、映像化に関する具体的な内容・手続き等に関しましては入選後別途協議の上で決定させていただきます。

※入選者の作品にかかる著作権に関しては、入選者に留保されますが、該当作品の使用について運営三社(幻冬舎・テレビ東京・note)に無償で許諾いただくものとします。その具体的な範囲等につきましては、別途協議の上で決定させていただきます。

<審査員プロフィール>

・けらえいこ (漫画家)

1991年『セキララ結婚生活』を、メディアファクトリーより描き下ろしで刊行。ベストセラーになる。1994年、読売新聞日曜版で「あたしんち」連載開始。1995年、日本テレビ系列で連続ドラマ「たたかうお嫁様」放映(主演・松本明子)。1996年、「あたしんち」第42回文春漫画賞受賞。2002年、アニメ「あたしんち」がテレビ朝日系列でスタート。2010年、単行本『あたしんち』が累計1000万部突破。現在noteで、新作「小さい日記」を連載中。

・箕輪厚介 (幻冬舎/編集者)

2010年双葉社に入社、ファッション雑誌の広告営業として四年間、タイアップや商品開発、イベントなどを企画運営、『ネオヒルズジャパン』と沢翼 創刊。2014年から編集部へ異動し『あえて、ルールから外れる。逆転の仕事論』堀江貴文を担当。2015年7月に幻冬舎に入社。『たった一人の熱狂』見城徹、『空気を読んではいけない』青木真也、『多動力』堀江貴文、『お金 2.0』佐藤航陽、『メモの魔力』前田裕二などを手がける。

・羽賀千恵 (幻冬舎/編集者)

2003年宣伝会議入社。広告営業や『編集会議』の編集を経てメディアファクトリー(現KADOKAWA)へ。コミックエッセイ編集部所属し『日本人の知らない日本語』(蛇蔵/海野凧子)『スリム美人の生活習慣を真似したら1年間で30キロ痩せました』(わたなべぼん)『今日も朝からたまご焼き』(森下えみこ)などを手掛ける。2015年4月に幻冬舎入社。『やめてみた。』(わたなべぼん)『女ひとりの夜つまみ』(ツレヅレハナコ)

『阿佐ヶ谷姉妹の のほほんふたり暮らし』(阿佐ヶ谷姉妹)『40歳を過ぎたら生きるのがラクになった』(アルテイシア)『森瑤子の帽子』(島崎今日子)『麦本三步の好きなもの』(住野よる)などを手掛ける。

・佐久間宣行（テレビ東京／テレビプロデューサー）

1999年テレビ東京に入社。『TVチャンピオン』などで経験を積みながら、入社3年目に異例の早さでプロデューサーとして抜擢される。『ゴッドタン』のプロデュース・総合演出をつとめるほか、『ピラメキーノ』『有吉のバカだけどニュースはじめました』、テレビ東京開局50周年記念企画『トーキョーライブ24時〜ジャニーズが生で悩み解決できるの！？』などのプロデュースを担当。『ゴッドタン』の名物企画「キス我慢選手権」の映画化の脚本・監督をつとめるなど、さらに活躍範囲を広げている。2019年4月より、現役のテレビ局員初となる、オールナイトニッポン0のレギュラーパーソナリティを担当。

・祖父江里奈（テレビ東京／テレビプロデューサー）

2008年テレビ東京に入社。バラエティ番組のディレクターとして『おしゃべりオジサンと怒れる女』『モヤモヤさまぁ〜ず2』『YOUは何しに日本へ?』などを担当しつつ、ドラマや映画の製作にも携わる。2014年、現代の日本人女性の性と向き合うドキュメンタリー映画『ビッチ』を監督。2018年よりドラマ制作部に異動、2019年4月クール『きのう何食べた?』を担当。

・加藤貞顕（ピースオブケイク代表／編集者）

アスキー、ダイヤモンド社に編集者として勤務。『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』（岩崎夏海）、『ゼロ』（堀江貴文）、『マチネの終わりに』（平野啓一郎）など話題作を多数手がける。2012年、コンテンツ配信サイト・cakes（ケイクス）をリリース。2014年、クリエイターとユーザーをつなぐウェブサービス・note（ノート）をリリース。

・大熊信（cakes編集長／編集者）

出版社勤務後、フリーライター・編集者を経て、2012年にcakesの立ち上げに参加。2013年1月株式会社ピースオブケイクに入社。2017年4月より現職。

以上